

1 単元名「見つけよう！ステキな自然、友人、自分」～自然教室での学習活動を通して～

2 単元の目標

自然教室の意義や目的を理解し、自然の中で仲間とふれあい、力を合わせて目的の達成に取り組む活動や自己の役割を果たすことを通して、自然や友人、自分自身の良さに気づき、その良さを発信できるようにする。

3 単元について

(1) 教材観

自然教室は、非日常的な活動を通して、自然との感動的な出会いや新たな気づき、自分の得意なことや苦手なこと、やったことがないが挑戦することなど、普段の学校生活では得られない経験ができるという面において教育的意義は大きい。体験活動中には、教室ではおとなしかった子どもが、教師も予想もしなかったようなリーダーシップを発揮する場面もある。また、自然の中で生活をともにする自然教室で、美しい自然・雄大な自然に触れることや仲間と困難を乗り越えてやりとげる達成感を得ることなど、感動体験を共有することで、学級への所属感や連帯感も深めることができる。

小学校学習指導要領・特別活動では、“自然体験や社会体験などの体験活動を充実するとともに、体験活動を通してきづいたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの活動を充実するよう工夫すること。”と示されている。自然教室における様々な体験は、協力や思いやり、役割や責任などの大切さを心から実感することができる場であり、児童に強い印象として残ることが多い。そのため、本単元では、その指導の一環として、振り返りの際に「すごいと思ったもの」に視点をしぼり、言葉でまとめたり、発表し合ったり、伝え合ったりする。そこで、体験を通して学んだことを再認識させることで、自己肯定感や自己効力感を育てて、様々な場面で自信をもって活躍できる児童の育成を目指したい。

(2) 児童観

本学級では、学級経営の一環で帰りの会に「ナイスタイム」を設け、学校生活の中で見つけた友人の良さを発表する時間をとっている。よかったところを発表されると、誰でもうれしく、学級への帰属意識や達成感も高まる。これまで自分本位だった考え方の児童も、周りを見て行動をしたり、友人の良さを自分に取り入れたり、少しずつ変化が見えてきた。しかし、年度当初はクラスの半数以上が挙手していたにも関わらず、後期に入ってから、その挙手も多いときで十数人ほどとなった。また、発言の内容についても、「落としたものを拾ってくれた。」や「名札を回収してくれた。」など、毎日代わり映えない内容になってきた。そこで、本単元では、「友人の良さ」を見つける活動を重点的に行い、その中で自分自身の良さも発見していく活動を取り入れる。普段とは異なる活動の中で、友人の良さを再発見し、自然教室以降の学校生活のさらなる充実へとつなげていきたい。

また、学校において自分に自信がもてず、友人関係に不安を感じている子どもも自然教室では、仲間と一緒に活動にチャレンジすることで、人間関係づくりや社会的自立への契機となるように活動を工夫し

たい。そのために、友人や教師だけでなく、保護者にも協力を依頼し、自然教室前後の子どもの変容を子どもに伝え、自己肯定感を育てるさらなる手立てとしたい。

### (3) 指導観

本単元の指導に当たって、特に大切にしたい考えは、自己肯定感、自己効力感を育むことである。そのためには、まず、子どもたちが自然教室のねらいを理解し、それらを達成するための活動を取り入れる必要がある。活動を通して、体験したことをそれだけで終わらせないよう、活動を共にした仲間と活動中の出来事について思い出し、意味付けすることで、「体験からの学び」を充実させたい。さらに、活動を振り返らせるために、活動ごとに全体の目標とそれに基づくグループの目標、そして目標達成のための個人のめあてをしっかりと持たせるとともに、ふりかえりによって得られた学びを次の活動につなげていきたい。まとめ・表現の場面では、活動の中で見つけた友達の良さを「友人のすごい」として発表し、自分自身においても、挑戦したことへの達成感や友達からのナイスを通して「自分もすごい」と思えるように指導する。その結果、互いの良さを認めたり、高め合ったりすることができる集団をつくっていきたい。さらに、行動変容につなげるため、日々の様子を観察するとともに、道徳や社会の学習とも関連させながら、教科横断的な指導をしていく。

### (4) ESD との関連

#### ・本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

- ・連携性…活動班、部屋班結成の際にだれとでも仲よくやっていこうという気持ちが大切であること。また、さまざまな活動を通して、困難なことがあっても協力することで、乗り越えられるということ。
- ・責任性…活動がスムーズに進むためには、一人ひとりが役割を果たすことが大切であること。また、シーツや食器、食材などを使用する際には、責任をもって大切に扱い、退所時は決められた通りに元へ戻すこと。

#### ・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

##### クリティカルシンキング

友人や自分、自然の良さに気づき、様々なエピソードをもとに情報を整理・分析して、積極的・発展的により良い方法でまとめる。

##### コミュニケーション力

さまざまな活動の中で、自分の考えや思いをわかりやすく伝え、友人の考えも尊重し、積極的にコミュニケーションをとろうとしている。

##### 協働的問題解決力

グループで協力する場面において、自分の役割を理解して主体的に話し合いに参加したり、仲間を励ましたりしながら活動にあたっている。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

世代内の公正

自然教室の学習を通して見つけた友人や自分の良さを伝え合う。

自然環境、生態系の保全を重視する

自然の中での体験活動を通して、自然のありがたさや温かみを肌で感じ、環境問題についての関心が高まる。

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

いつもとは異なる不便な場所で過ごすことで、親の愛情や日々のありがたみを感じられる。  
また、友人に自分の良さを発見してもらったり、自分自身で見つかったりすることで、「自分はすごい」と、自己効力感や自己肯定感が高まる。

・達成が期待される SDG s

4 教育

1 2 生産と消費

1 5 陸上資源

#### 4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力、判断力、表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 自然教室の意義や目的、郊外における集団活動の在り方や公衆道徳について理解し、行動することができる。</p> <p>② 自分の役割をしっかりと果たし、友人と協力して活動することができる。</p>	<p>① 様々な活動を通して感じた気づきをもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。</p> <p>② 課題の解決に必要な情報を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。</p> <p>③ 経験したことエピソードと関連付けて、「すごい」の根拠を見出している。</p> <p>④ 活動を通して学んだ友人の良さ、自分の良さ、自然の良さをスライドにまとめ、表現している。</p>	<p>① これから行う活動について、その概要を知り、自分なりの問題意識や見通しをもっている。</p> <p>② 自分ができることをみつけ、進んで活動しようとしている。</p> <p>③ ゲストティーチャーとの関りの中で、自分にできることを見つけ、行動しようとしている。</p> <p>④ 自分の良さを学校生活のどの場面で生かせるのか、自分なりの思いや願いをもつことができる。</p>

5 単元の指導計画（全 19 時間）

	時	ねらい	○主な学習内容	◇評価 ・備考
課題設定	1 2	「自然教室」は何を学ぶところ？		(ア) ① (ウ) ①
	3 4	自然教室の目的や活動内容をもとに、今後の活動の見通しをもつ。 ・班メンバーを決める。 (活動班・部屋班)	○普段とは違う、学校生活、違う経験をする中で、普段とは違う挑戦や友人の良さを見つけること。	
	道徳	「星が光った」 D 感動、畏敬の念	○「美しい自然」について話し合う。 ○人間の力を越えたものについて話し合う。	◇大自然の摂理を生み出す大いなるものに対して、畏敬の念をもって生きようとする。 (態)
	5 6	キャンドルのつどいを盛り上げるレクを考える。	○「キャンドルのつどい」でのクラスの出し物について話し合う。	(ウ) ②
	7 8	見つけよう！自分と友人、自然の「すごい！」ところ		(イ) ①
		しおりを作成する。 班のめあて、個人のめあての設定。		
情報収集	9	ゲストティーチャー招へい 「野外活動の良さ」	○「野括の達人」とのふれあいを通して、自然教室への主体性を醸成させる。 ○達人の思いや考え方にふれ、野外活動のすばらしさに気づく。	(ウ) ③
	道徳	「まかせてみようよ」 B 相互理解、寛容	○意見や考え方が違う仲間を認め合う方法について考える。 ○相互理解の大切さについて話し合う。	◇互いに高め合う集団を求めて、謙虚な心で相手を尊重していこうとする。(態)
	10 11	決起集会、事前指導	○クラスのいいところ見つけ表を作り、めあてを達成できるようにする。	(イ) ②

	配 当 な し	○その日の感想をしおりの日記として書く。 ○児童は自己評価をして、次の日のめあてとする。 ○わかったこと、考えたこと、友人の良さを詳しく書き、まとめの際の参考にしていく。	○スコアビンゴ ○カプラ積み木 ○キャンドルのつどい ○野外炊飯	(ア) ② (イ) ③ (ウ) ④ ・めあての達成に向かって努力する過程をほめ、価値づけをする。
	12 13 14 15	体験したことを振り返り、発表用のスライドを作成する。	○写真を見ながら、活動をふりかえる。 ○伝えたいことをスライドにまとめる。	(イ) ③
	16 17	リハーサル 発表（参観）	○互いの発表を聞き合い、アドバイスカードを用いて、改善を図る。 ○自然教室で学んだことをまとめる（自然の良さ、友人の良さ、自分のがんばり） ○「知っていましたか？○○のリーダーシップ」など、自然教室前後のエピソードとともに、他己紹介をする。	(イ) ④ ・他者から認められる場や、自分の成長に気づかせる活動を設定することで自尊感情を育む。 ・友人や自分の活動を振り返り、がんばった姿を発見することで自分の成長に気づかせる。
	18	自分のいいところ見つけ	○自分で立てた目標を達成できたか、班のメンバーと話し合う。	(ウ) ④
	⑲ 本 時	「ステキな自分」表彰式	○自然教室でチャレンジしたことや達成できたことを「自分への表彰状」にまとめる。 ○自分のステキなところを今後の学校生活で生かしていく。 ○帰宅後、保護者の方からもメッセージをもらい、家庭でも自然教室を振り返られるようにする。	(ウ) ④

本時の指導（19時/19時間）

（1）本時の目標

- ・自分の良さに気づき、その良さが学校生活のどの場面で生かせるのか、自分なりの思いや願いをもつことができる。

（2）本時の展開

時	○主な学習内容 ・予想される児童の反応	◆指導上の留意点、配慮事項 ◇評価規準（評価方法）
導入	○これまでの学習を振り返る。 ○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         伝えよう！一人ひとりが MVP ～「ステキな自分」表彰式～                     </div>	◆発表会をふりかえり、友だちに自分の良さを発表してもらったことにきづかせる。
展開	○「いいところカード」やチャレンジしたことから「ステキな自分」を話し合う。 ・友人にテキパキしていると言われてうれしかった。 ・整理整頓を目標にがんばって、達成した。  ○自分の表彰状を作り、グループで発表する。 ・友人からもらったふせん、しおりのチャレンジ内容から、「ステキな自分」を自分の言葉で表彰状に書く。 ・自分で考えが思いつかない児童は、班のメンバーが手助けをする。 ・自分の良さをこれからの学校生活でどのように生かすかを考える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ・表彰状（自分）様、わたしは、自然教室の学習において「◇◇をがんばり、班のメンバーを大いに助けることができました。」よって、そのがんばりをここに賞します。                          これからの学校生活でも、わたしの良さ「<span style="display: inline-block; width: 100px; border-bottom: 1px solid black;"></span>」を十分に発揮し、みんなの見本になっていきます。                     </div>	○教師が模範となり、友達からもらった言葉からステキな自分を見つけられるようにする。  ◆意識改革、行動変容へつなげられるように、表彰状のテンプレートに「これからの学校生活で生かしていく自分の良さ」を書けるようにする。
まとめ	○学習をふりかえる。 ・「自然教室前後で変容した自分の成長」や「新しく発見した自分の良さ」に焦点をあて、学校生活に生かせることを考える。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">                         ・これまで、自分は頼りないと思っていたが、友人から頼りになるといわれて、自分の良さに気づいた。これからは、困っている人を見つけたら、自分から声をかけていきたい。                          ・自分には、友人の考えを受け入れるといういいところがあるときづいた。これからの学校生活でも、人の話を最後まで聞きたいと思った。                     </div>	◇自分の良さを学校生活のどの場面で生かせるのか、自分なりの思いや願いをもつことができる。【態度】（発言・WS）  ◆帰宅後、表彰状に保護者からのメッセージを書いてもらい、家庭でも、成長を実感できるようにする。

## 研究の実際

### 【自然教室事前指導】

- 自然教室の意義や目的をくり返し明確に伝えることで、児童に「いいところ見つけ」という意識をもたせた。
- 班構成について…部屋班、活動班ともに、子どもたちの意見を十分に反映して決定した。活動班の班長は、推薦で決められ、その班長が班のメンバーの構成を考えた。部屋班は、初めての宿泊学習ということもあり心が許せる一人を決め、その子と同じ班になるように構成した。各活動班の活動のめあては次の通りである。

#### ○班のめあて

- A 班…意識高く行動しよう。
- B 班…ルールを守りながら、楽しく勉強しよう。
- C 班…交流を深めよう。
- D 班…みんなで一緒に行動しよう。
- E 班…自然とふれあい、仲間と協力して楽しい自然教室にしよう。
- F 班…二日間共に学習して、友達の良いところを見つけよう。

- 自然教室の様々なプログラムを子どもたちが中心となって企画することで、児童が輝く場面を多く作れるように工夫した。「キャンドルのつどい」のクラスからの出し物では、実行委員以外ほぼ全員が前へ出て、司会や問読みの役をやり遂げた。
- 道徳の教材「まかせてみようよ」「星が光った」において、主人公の気持ちと自分の気持ちを重ねて考えたり、実際の場面でどう声をかけるか考えたりしたことで、自分なりの友達を大切に思う行動ができた。特に、「まかせてみようよ」の教材は、考え方が違う仲間と認め合う内容の教材で、自然教室の活動中に意見の食い違いや考え方のずれなどを解決するために、必要な教材だったと感じた。
- 小中連携の一環として、内浜中学校の野外活動部の顧問の先生を GT として招いた。自然教室だからできることや身を守るためにやってはいけないことなどを話していただいた。

#### 児童の感想

- ・どうしたら弱い火になるか試しながら活動したい。
- ・班の友達がけがをしたら大変なので、ばんそうこうを持っていこうと思った。
- ・ケガをしないことも大切だけど、みんなで協力し合ってやった方が良いと聞いて、協力って大切なことなんだなと感じた。
- ・友達も自分も守って学習していく。
- ・自然をもっと大切にしながら、自然教室を過ごしたい。節水したい。
- ・今まで経験しなかったことを経験したい。



【指導案検討会】福岡市国際教育研究会の先生方からのアドバイス

○クラスの良いところみつけの表を作り、しおりに貼る。見つけた「すごい！」数をランク付けする。

一日のふりかえりを書く際に友達の良さも書くように事前指導した。(資料左)

○各活動において、自分がかんばりたいと思っていることを事前に班のメンバーに知らせた。班のメンバーは、それを念頭において、適切な言葉かけや評価ができた。(資料右)

「すごい！」発見カード 5年2組名前 \_\_\_\_\_

「すごい！」ところをたくさん見つけよう!(自然・友達・自分)

(例)・「〇〇していた◇◇さんは、すごい!」(エピソードも一緒に)

・「◇◇さんは、〇〇をしていて頼りになった!」

なみつけた「すごい!」の数→10以上→Sランク、9-7→Aランク、4-6→Bランク、1-3→Cランク、0→Cランクなし

ランク	番号	名前	エピソード
C	1		
	2		
	3		
B	4		
	5		
	6		
A	7		
	8		
	9		
S	10		
	11		
	12		
	13		
	14		

「すごい！」発見カード 5年2組名前 \_\_\_\_\_

班のめあて \_\_\_\_\_

自分のめあて \_\_\_\_\_

〈がんばりカード〉自然教室でチャレンジしたいことや達成したいこと

スコアビンゴ	カブラ積み木
キャンドルのつどい	野外炊飯

(例) 協力する× →困っている友達がいなかよく見て、いたらすぐに声をかける。  
一生けん命学ぶ×→自然についてわからないことや不思議に思ったことを調べる。  
具体的に書くと、行動がはっきりと見えてくるよ(〇)

班のメンバーのサイン

--	--	--	--

「すごい！」発見カード 5年2組名前 \_\_\_\_\_

「すごい！」ところをたくさん見つけよう!(自然・友達・自分)

(例)・「〇〇していた◇◇さんは、すごい!」(エピソードも一緒に)

・「◇◇さんは、〇〇をしていて頼りになった!」

なみつけた「すごい!」の数→10以上→Sランク、9-7→Aランク、4-6→Bランク、1-3→Cランク、0→Cランクなし

ランク	番号	名前	エピソード
C	1		かまど係をしていたときにチキンを焼かしていた。
	2		はんで整えようとした声かけをきつてくれた。
	3		はんで整えようとした声かけをきつてからならなくてよかった。
B	4		かまど係をしていて、お茶を淹れてくれた。
	5		食器と道具をきつてくれた。
	6		出発式のために大きな声ではきはきと司事をやっていた。
A	7		入所式のためにしせい正しく聞いていた。
	8		シートが足りないときに何回も往復してきてくれた。
	9		カブラ積み木を集中してつくっていた。
S	10		旗上げのときにうまくあげることができた。
	11		坂元さんと協力して旗をあげていた。
	12		部長会議のときに代表して行って来た。
	13		帰りのバスのときにすばやく行動してくれた。
	14		最後まではん長のお話を聞いてくれた。

班のめあて 自然とふれあひ仲間と協して楽しい自然教室にしよう!

自分のめあて 班長として、班のみんなをまとめてみんなの楽しい思い出にできるように自然教室にする!

〈がんばりカード〉自然教室でチャレンジしたいことや達成したいこと

スコアビンゴ たくさんの自然を見ながら、迷子にならないように、地図を正確に読みとり、教入あたりしつけ!!	カブラ積み木 不思議な形をした積み木で、すごい作品を、友達と協力しながらつくりたい!
キャンドルのつどい 歌をみんなで作ったり、遊んだり、ふたはしないことを、たくさん楽しみたい!	野外炊飯 みんなでおいしいご飯を食べれるように、一人一人が協力し合えるように、困った人を助けて、教入あたりしつけ!!

(例) 協力する× →困っている友達がいなかよく見て、いたらすぐに声をかける。  
一生けん命学ぶ×→自然についてわからないことや不思議に思ったことを調べる。  
具体的に書くと、行動がはっきりと見えてくるよ(〇)

班のメンバーのサイン

--	--	--	--

## 【自然教室】

○自然に触れ合うことで、心や気持ちが大きくなり、友達のことを受け入れたり、自分の心を開放したりといつもとは違う一面が見られた。

○支援学級の児童や特性のある児童は、学校で席に座って学習することよりも、自然の中で自分の役割を必死に果たそうとしたり、優しい言葉で励ましたりする一面が見られた。そのことがきっかけで、児童の接し方も変わったように感じられた。

○楽しい中にも、協力してしっかり学ぼうという意識があった。



## 【自然教室事後活動】

- 「見つけ！いいところスcoop！」の導入では、活動時の友達のがんばりや自然の美しさを感じられるように自然教室の写真を児童に見せた。また、ふりかえりの時間を十分にとったことで、いいところみつけにつながった。
- 学習参観に向けて、発表用のスライドを作成した。その際、自然の良さや友達の良さには言及しているものの、自分の良さを書いた児童が少なかった。それを踏まえ、本時「ステキな自分表彰式」の導入とした。
- 自然教室のモチベーションを継続して保つことが容易でなかった。



## 自然教室で学んだこと

G班

班のめあて  
2日間ともに学習して友達の良いところを見つけよう



## 特に印象に残った活動 スコアビンゴ

- ・山登り
- ・役割分担



特に印象に残った活動  
野外炊飯

《活動紹介》  
野外炊飯は、みんなで協力してカレーを作る活動です。



《学んだこと》  
・友達と協力する大切さ

## 自然教室で挑戦したこと

スコアビンゴでビンゴをすべてうめることと、カブラ積み木でたかくつみあげることです。

- ・スコアビンゴでビンゴを埋め木で役に立ちたかったから。

挑戦結果

班のみんなから役に立ったと言われたからよかったです。

## 友達の「すごい！」

- ・**■**さんが、遅れている人の補佐をしながらスコアビンゴをしていたこと。
- ・**■**さんが、山をどんどん登っていったこと。

## 友達の「すごい！」

- ・**■**さんと**■**さん...

「目が痛い」といっていたけど頑張って玉ねぎを切っていてすごいと思った。

- ・**■**さんと**■**さん... 頑張って山道を進んでいったのがすごいと思った

本時

【授業者ふりかえり】 ○成果 ■課題

- 自然教室で培った協力する姿勢が話し合い活動の中でも見られた。中々書き進められない仲間に対して、「こう書いてみたら。」や「こうじゃない？」とアドバイスする姿が見られた。
- 自分の良さを考えられない児童のために、「良さ発見カード」を準備したところ、班のメンバーが当てはまる言葉を提案するのに使っていた。
- 表彰状は、型にはめるタイプと自由に記述できるタイプの2種類準備した。型にはめるタイプより自由に記述するタイプを選んだ児童が多く、自分で文章を考えたいという気持ちが表れていた。
- 児童の中には、「自分はまだまだだ」「自分のことをほめるのははずかしい」と感じている児童もいたが、友達から認められた良い点に注目することで、「自分の良さ」を見つけることができた。
- 友達の「すごい」を書く視点を実際の行動“エピソード”として示していたので、参観時のスライドのまとめやふりかえりの際にそのまま引用できた。

- ナイスカードの枚数が人によって偏ったことから、教師が意図的に分配するべきだった。児童には、枚数よりも内容が大事であると伝えたが、枚数の多さに目が行く児童もいた。
- 本時で気づいた「自分の良さ」を継続して感じるためには、行動できたかどうかの評価する必要がある。
- 授業内容が盛りだくさんだった。話し合いの時間やじっくり考える時間を確保できなかった。
- 話し合いの手順が明確でなく、手が止まっている児童がいた。

自分の「すごい！」を見つけよう！  
名前 \_\_\_\_\_

めあて \_\_\_\_\_

自然教室にて ちょう戦したこと 達成したこと	友達からのナイス
------------------------------	----------

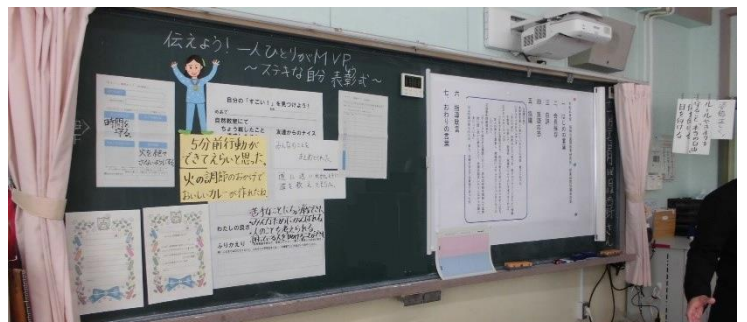
わたしの良さ \_\_\_\_\_

ふりかえり 「自然教室を終えて、成長したこと」「新しく発見した自分の良さ」  
例) これまでは〇〇だったけど、これからの学校生活では♡な場面で□□を生かして活やくしたい。


学習プリント



表彰式の様子



板書

【本学習を通して育てたい ESD の資質・能力（協議会より）】 ○成果 ■課題

クリティカルシンキング

- ナイスカードは、仲間に認められたという自信や喜びにつながった。
- 自然教室の事前、事後、などさまざまな活動の中で「ナイスカード」の情報を収集していて、それがいいところ見つけにつながっていた。
- クリティカルシンキングによって、自分自身の良さに気づくとともに、客観的な視点（メタ認知）で良さを比べることができた。
- 友人からの意見をもとに、自分について良さを視点として考えをまとめていた。
- 「良さ」「すてき」「ナイス」「MVP」など、多くの言葉で表現されていたが、「魅力」や「ピースサイン（学級目標）」などの言葉にしぼったほうが混乱しなかったのではないかな。
- 自分で見つけた良さや友達からの「ナイス」をじっくり分析する時間があったらよかった。
- 「良さカード」は、心情面、行動面で色分けすると、比較や分類がしやすい。ワークシートやヒントカードの色も合わせると良い。
- ナイスカードから一つ一つのエピソードの分析ができていなかった。
- 自分の良さをどの程度まで見つけるのか不明確だった。
- ナイスカードから考える際、どこを見ればよいか戸惑っていた。→分析の仕方を提示する

とりあえずの自分の良さを見つけれられたが、その良さが本当に自分の良さなのかという検討ができなかった。話し合いや分析の時間をかけて、自分の良さを追究することが必要だった。また、色を分けるなど、視覚的にもわかる工夫を取り入れたらよかった。

コミュニケーション力

- 自分自身へ向けた表彰状として、仲間に認められたことを、文字言語で表現することができた。さらに音声言語等によるリレーションがあってもよかった。「書く」作業で、自分の良さを再認識できた様子だった。
- 自然教室の活動班がそのままだったので、自然と助け合う雰囲気や話しやすい雰囲気が出ていた。
- 鉛筆が止まっている児童に対して周りの子が一緒に考えていた。
- 自分の良いところを自分の言葉でまとめ、発表することができていた。
- 表彰状は一度回収し、本当にその子の良さを表しているかと確認してから持ち帰らせたらよかった。
- 話し合い時間の確保…一人ずつの良さを班の仲間全員で見つけてもよかったのではないかな。

自然教室での活動班のままだったので、親和的な雰囲気の中、助け合う姿が見られた。一方で、自分で見つけて「書く」作業ではなく、仲間に見つけてもらって「音声」で伝え合うこともできたらよかった。

協働的問題解決力

- 話し合い活動の中で、積極的に発言し合っていた。
- 「良さ発見カード」を見せながら、書き方が分からない子へのアドバイスもできていた。
- 自分の良さを発表する場面で、相手のことを考えながら聞けていた。
- 仲間の良さを見つめることが、協働的問題解決能力につながっている。
- グループ交流を活発にする手立てがあればよいと思った。（一人ひとりにアドバイスするなど）
- 表彰式の際、班での活動写真を見られる形にしておくと、思い出して書く助けになったのではないかな。

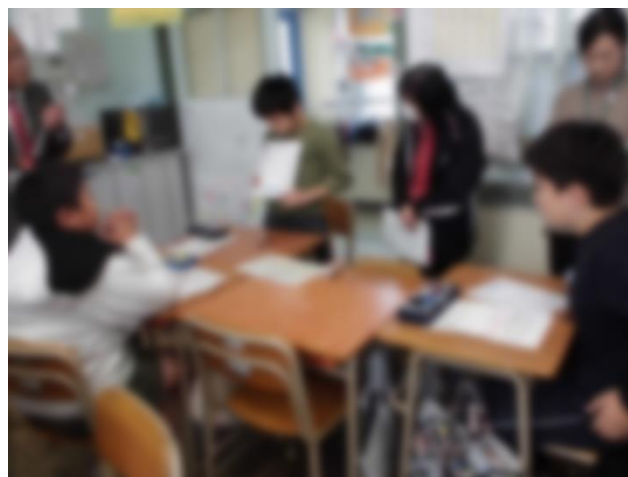
書き方が分からない児童に対しては、積極的に助けにいく姿が見られたが、黙々と一人で考える児童には声がかかっていなかった。グループ交流の際、一人ひとりに発言を促すなど、交流が活発になる手立てが必要であった。

## その他

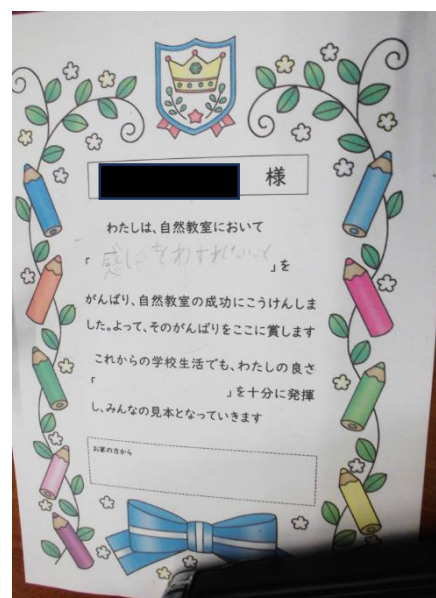
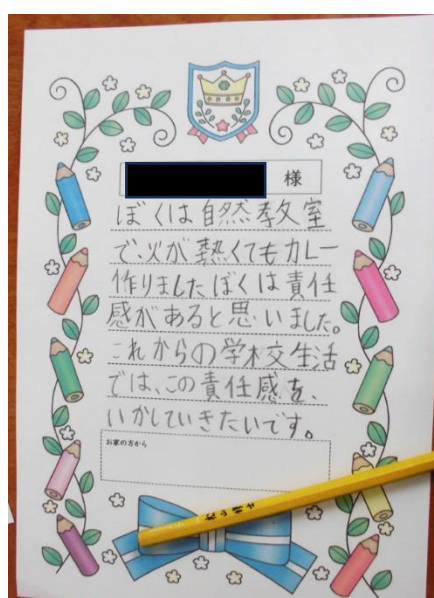
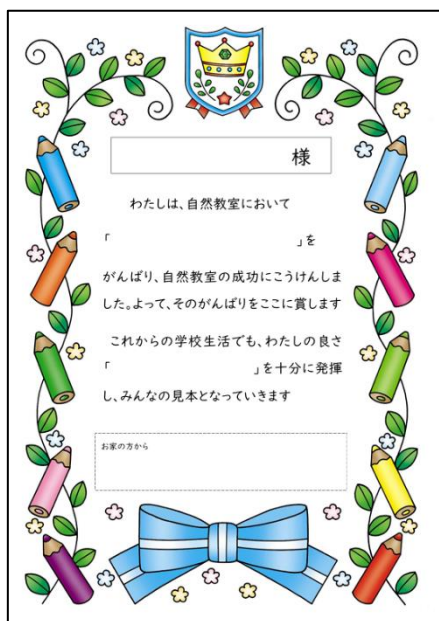
- ・単元のタイトルが「自然と向き合う」ではなく、「見つけよう！ステキな自然、友人、自分」～自然教室での学びを生かして～が当てはまる。
- ・表彰式の意味を児童が十分に理解していなかったように感じた。学習計画を示す際に「表彰式があるな」と感じられれば、目的の理解もあったのではないかと。(今回は、授業参観後に児童に提示した)
- ・友達の良さを見つけることで自分も友だちも嬉しいということを価値づけでき、良いところは進んでほめるという学級の雰囲気を作られた。
- ・「良さ発見カード」は、学級の掲示として、言葉を増やしていくと良い。また、「協調性がある」など難しい表現もあったので、児童が理解できる言葉にする必要がある。
- ・表彰状は、「～にこうけんした」よりも「～の姿を認めてもらった」の方がうれしいのではないかと。
- ・表彰状を2種類から選べることや、良さ発見カードを参考に自分の良さを探ることが、UDL（学びのユニバーサルデザイン）につながっていた。特別支援学級の児童も自分の良さを進んで発言する姿が見られた。
- ・「みんなの助けになり、みんなの役に立ちたい」…今週はできたかどうか、オクリンク等の日々のふりかえりで活用してよい指標だと感じた。
- ・自分の良さを見つけ、本単元に限らず、キャリアパスポートのように積み重ねてポートフォリオにしたら学習の効果が上がるのではないかと。
- ・ICTの活用や年間の見通し、ルーブリック評価の作成など、再考できる余地は多くある。

## 児童のふりかえり

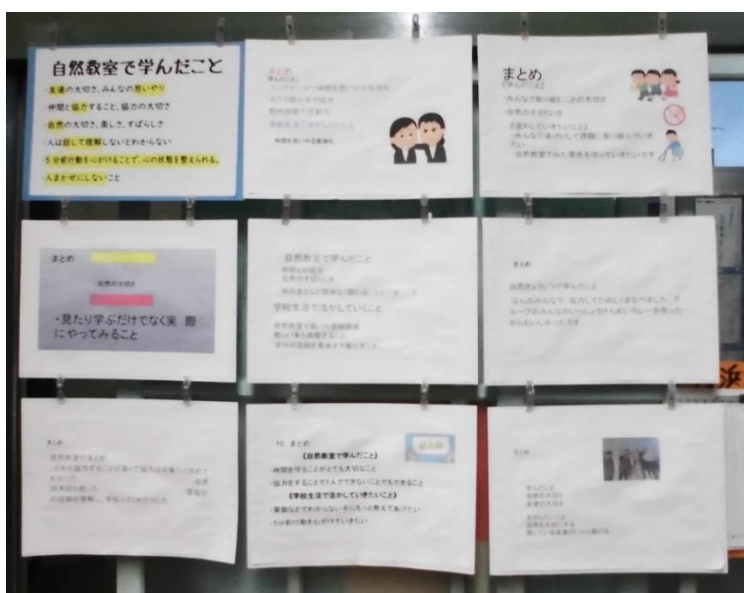
- ・これまでは、苦手だったことを挑戦しなかったけど、これからの学校生活では、苦手な場面で得意なことを生かしたい。
- ・これまでは、仲良しの友達としか遊んでいなかったけど、今まであんまり遊んでなかった友達の一面を知ることができました。これからは、たくさんの友達と話していきたいです。
- ・役割を果たせることは、今まで言われたことがなかったので、うれしかったです。「やさしい」は、いつもお母さんに言われているので、見てくれたことがうれしかったです。
- ・私は、人の良いところを見つけるのが苦手だったけど、二日間の中に班のメンバーの一つ一つの行動を見て、得意になりました。あまり親しくなかった人でも、こんな意外なことがあるんだとビックリしました。学校では、いろんな人の意外なところをたくさん見つけたいです。



表彰式の様子



表彰状



教室掲示

良さ発見カード

周りの人との関わり

- ・声かけ上手
- ・リーダーシップがある
- ・ムードメーカー
- ・頼りになる
- ・人のことを考えられる
- ・協調性がある
- ・責任感がある
- ・アドバイスが的確
- ・感謝を忘れない
- ・仲間思い
- ・フォローが上手
- ・統率力がある
- ・みんなのことを考えられる

自分自身

- ・全力で取り組む
- ・元気がいい
- ・姿勢がいい
- ・行動力がある
- ・失敗をおそれない
- ・好き嫌いをしない
- ・危険を予測できる
- ・あきらめない
- ・前向き
- ・聞きとりやすい声
- ・集中力がある
- ・アイデアが豊富
- ・笑顔がすてき

### 【児童の行動変容】

- ナイスタイムでは、自然教室前に比べて、「してもらったうれしさ」よりも「●●な姿がステキだった」という表現が増えた実感がある。具体的には、これまで「消しゴムを拾ってくれてうれしかった。」や「水筒を持ってきてくれてうれしかった。」だった内容が、「掃除時間前にそうじを始めていてすごいと思いました。」や「漢字スキルを必死に取り組んでいて集中していました。」など、その人の良さがより一層伝わる発表ができるようになった。
- 毎月実施している「生活アンケート」には、これまでクラスメートにされた嫌なことを書く子がいたが、自然教室後は、友達にされてうれしかったことを書く子が増えた。友達の悪い面だけでなく、良い面を見つけようとする行動が表れていると感じた。

最後に、研究実践にあたって、アドバイスしていただいた床田先生はじめ、福岡市国際教育研究会の先生方、ご指導及びご助言、ありがとうございました。